

学校のトイレ新聞

日本共産党 青梅市議団

青梅市議会議員 井上たかし
活動報告 2021年3月 No.4

井上たかしホームページも、ぜひご覧ください <http://peaceforat.com/it/>

この新聞では、青梅市内の小中学校のトイレなどの様子をご紹介します。「トイレがキレイになって、子どもたちが本当に喜んでいます」と、先生方から伺っています。間に合わずに卒業した子どもたちには申し訳ない思いですが、すべての学校のトイレが一日も早くキレイになるように、引き続き頑張ります。

吹上小学校 2020年度



使いやすく掃除もしやすいトイレ

着替え用の足場も設置

第一中学校 2020年度



車イスでも問題なく利用できます。生徒からは「イオンみたい！」と喜びの声



←廊下からドアのない明るい入口で安心感があります。構造の工夫で、中は見えません

↓センサー式蛇口の手洗い場



東京都の「トイレ補助」 2年間延長！

区市町村が学校トイレの改修を行う際に、東京都が補助を行う制度が2020年度をもって終了する問題は、「あと2年間延長する」見通しであることがわかりました。日本共産党青梅市議団は、昨年「延長を」と申し入れていました。

この制度は、国の補助とあわせて、実際の工事費の2分の1を補助するものです。こうした制度も活用し、早く工事を進めるべきです。



右から齊藤まり子都議、井上たかし市議、みねざき拓実、都の義務教育課長

若草小学校 霞台小学校 河辺小学校 新町中学校

まもなく工事開始！



←トイレ自体の老朽化に加え、天井から雨漏り(河辺小)

臭いがひどいため、「10びょうおして！ながして！」と張り紙↓



「トイレは不登校の原因になりかねないので、キレイになってよかった」と、関係者は語ります。また、「トイレがキレイになると、生徒もトイレをキレイに使うよ

うになった」とのこと。青梅市では、全校のトイレ工事にあと3年かかる予定ですが、少しでも早く完了するように、さらなる前倒しを検討すべきです。

外壁調査の結果

老朽化がさらに深刻になっていることが判明

昨年1月に発生した第一小学校の外壁落下事故を受け、私は3月の市議会で「緊急に全校の点検を」と求めました。また、6月議会では、抜本的な対策とともに、緊急の補修工事による対策も求めました。

市は4月に全校を点検し、夏休み以降に8校(第五小、七小、霞台小、第一中、二中、三中、西中、霞台中)で緊急に補修などの工事を行いました。

また、第五小は、今年、外壁、屋上防水の全面的な改修工事が行われることになりました。調査の結果、特に老朽化が深刻だったことが判明したためです。

第一中学校

3月に訪問すると、屋上防水工事が行われていました



第五小学校



昨年、校庭側の外壁補修工事が行われました。全体に痛みが深刻で、今年、全面的に改修されることになりました。

西中学校



屋上の防水シートが破れ、下の理科室の机と床が痛み、使用不能に



現在は、屋上の防水工事が行われたため、改善しています。

第一小学校

昨年、校舎南側全面の補修・塗装工事が行われました



落下跡 2020年2月に撮影

補修、塗装後

霞台中学校

昇降口前の外壁の補修工事・塗装が行われました



河辺小学校



手すりの「サビ」とともに、ひびが入っているとところなど、コンクリートの状況も心配です。

外壁落下は、雨水によって内部の鉄筋が錆びて膨張し、外側のコンクリートをはがしてしまうことが原因の一つです。

日本共産党青梅市議団

青梅市議会議員

井上たかし

ご意見お待ちしています

ご連絡は 090-8489-5260

inouetakashi99@gmail.com

@inoue_9 Twitterやっています

